



えんどう ひろき 遠藤 裕樹 議員

### 問 北岩手北三陸横断道路の現況は

### 答 構成市町村と連携して進める

現在の、県においても「構想路線」に位置づけられ、具現化に向けた調査を進めている。今後の課題は、岩手県新広域道路交通計画で「高規格道路」に移行させることが重要である。「高規格道路」は、人流・物流の円滑化や災害等に

【町長】北岩手北三陸横断道路については、平成30年10月、当町を含む近隣2市2町2村の首長・議会・商工団体で期成同盟会を立ち上げ、令和元年度には、盛岡広域及び宮古市以北の13市町村が、今年からは県医師会が加盟し、整備促進に向け、活動を行っている。

【議員】北岩手北三陸横断道路の進捗状況と、整備促進に向けた課題及び解決策は。

北岩手北三陸横断道路について

【町長】この3年間はコロナ禍で交流人口はもとより、地域経済にも大きな影響を受けた。本年5月以降は行動制限の解除・

【議員】町に活気を取り戻すための方策、企業誘致や町内観光拠点の整備など町中心部の魅力づくりについて伺う。



新たな町の拠点・木製上屋を備えた大橋

インバウンド需要の高まりなど状況が大きく変化しており、これを好機と捉え、各関係団体等と連携し、交流人口・関係人口増はもとより、地域経済を活性化させ、町の賑わいの創出に取り組む。企業誘致については、昨今の働き方改革などにより、状況が変化し、町の資源・環境を活かすことの出来る企業誘致に取り組む。又、意欲のある個人や企業を支援するため必要に応じて検討する。町内の観光拠点の整備や町中心部の魅力づく

りについては、複合庁舎「くずまゝる」や木製上屋を備えたくずまき大橋等が完成し、これらの「新たな町の拠点」を活かしながら、観光・交流人口の拡大を図り、地域経済の活性化や若い世代の移住定住につながる拠点空間の整備と、人が循環する仕組みを進めるための「くずまゝる周辺環境整備計画」の策定を進め、「ハード」と「ソフト」の充実を図り、リピートしたくなる満足感や期待感を提供していただけるよう取り組みを進める。



こんどう きよし 近藤 聖 議員

### 問 無償還奨学金制度の考えは

### 答 修学資金の職種拡充を図りたい

【議員】調査の状況と調査結果に対する見解は。

【町長】町内小学校6年児童は、国語は全国平均を上回るが、算数は下回る。中学校3年生徒は、英語・数学とも全国平均を下回っている。昨年度より理解度が上昇している教科もあり、学習指導の成果が現れていると捉えている。平均正答率で評価するのではなく、全体を俯瞰した分析が大切と考えている。

【議員】新聞を読む習慣と学力調査結果との相関をどう捉えているか。

【議員】町の進学状況の学進学状況の変化は。

【町長】個々の進学状況は把握していない。葛巻高校の短大・大学進学者数は、10年前は10名程度だったが、過去3年間で15名以上、昨年度は26名と増加している。中高

指導を各学校と共に共有していく。

【議員】町の奨学金利用の現状は。また、無償還奨学金制度について

【議員】小・中の公設学習塾を開設する考えは。



学習に励む葛巻高校学習塾の生徒

【副町長】償還金を次の利用者に貸与するという運用上の仕組みから、現奨学金制度を無償還にすることは考えていない。今後、「看護職員養成修学資金」の他の職種への拡充を図るなど進学支援を進める。

【町長】これまで、二つの奨学金は364名が利用しており、現在償還者は29名である。「看護職員養成修学資金」(返還免除制度あり)は、10名利用し4名が町内に就職している。

【議員】小・中の公設学習塾を開設する考えは。

【議員】町の奨学金利用の現状は。また、無償還奨学金制度について